

2010年6月4日

第12期(2010年3月期) 決算のご説明

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
(大証ヘラクレス, 証券コード8462)

本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券及び当社が管理運営するファンドへの投資勧誘を目的とするものではありません。また、本資料に掲載されている事項は資料作成時点において入手した情報に基づいたものですが、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。今後、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

この資料での数値は、特に指定がない限りすべて2010年3月末現在のものです。

1.	本資料における記載数値について	・・・	3
2.	経営環境	・・・	5
3.	第12期決算概要	・・・	7
4.	投資活動の状況	・・・	12
5.	運用資産の状況	・・・	15

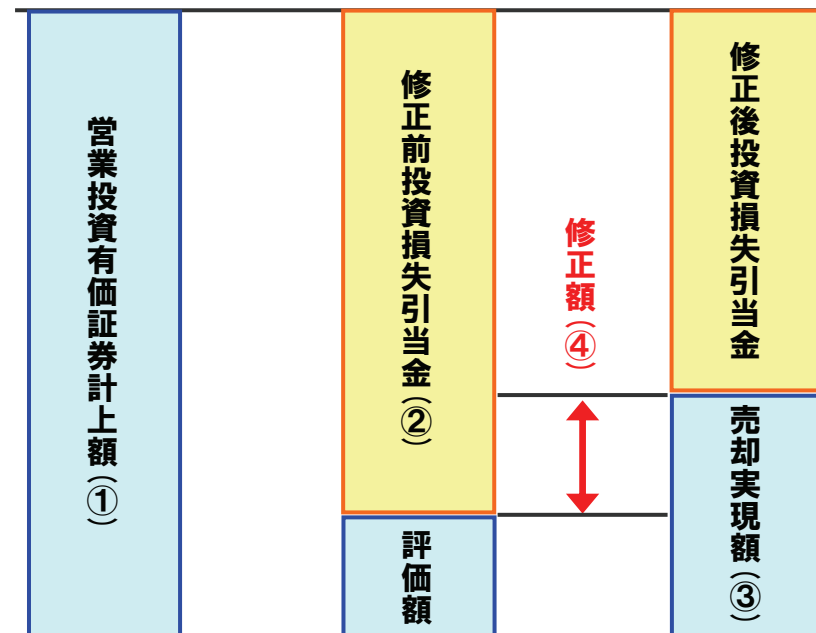
【参考】 連結決算数値 会社概要

1.1.決算短信の訂正について

2010年6月2日に開示いたしました「平成22年3月期決算短信の訂正及び第12回定時株主総会開催予定日の変更に関するお知らせ」に記載のとおり、後発事象の発生に伴い、2010年5月13日に開示した決算短信における財務数値に修正があります。**現在監査手続き中であるため、本資料記載数値は当該修正前の財務数値を記載しております。**

【決算短信訂正の概要】

平成22年3月期末における営業投資有価証券(①)にかかる投資損失引当金(②)につき、期末日以降に**引当金計上対象となった営業投資有価証券の一部の売却が実現(③)**いたしました。その結果、**期末の投資損失引当金の水準が遡及的に過大な金額であったと判断される事態が発生いたしましたので、財政状態及び経営成績の適正な表示という観点から、投資損失引当金の金額を客観的な水準に見直すべきと判断し、修正(④)を行うことといたしました。**その影響額については、現在、監査法人による監査中であり、未確定であります。が、**連結営業損益が約66百万円の増加、個別営業損益が約13百万円の増加となる見込み**であり、連結、個別ともに損益の改善となることを見込んでおります。



【第12回定時株主総会開催予定日の変更】

上記修正に伴い、一連の手続きに時間を要するため、2010年5月13日に開示いたしました決算短信において2010年6月24日としておりました第12回定時株主総会開催予定日は、2010年6月30日に変更となります。

1.2.財務数値の表示方法

当社では連結での決算を行っておりますが、当社の経営成績及び財務状態をよりの確に表すため、本資料では、基本的に子会社及び投資事業組合の**当社持分のみを連結した財務数値を記載**しております。

【連結の対象となる子会社及び投資事業組合】

連結子会社 : 100%出資子会社1社 投資事業組合30組合
出資金総額 : 31,693百万円
(うち、外部出資者の持分 26,961百万円)

【投資事業組合を連結した場合の影響】

投資事業組合を連結することにより、外部出資者の組合持分が、当社の連結損益計算書、連結貸借対照表に含まれます。

○連結貸借対照表

- ・**自己資本比率が低下します。**外部出資者の組合持分が、当社の「**総資産**」に含まれるためです。

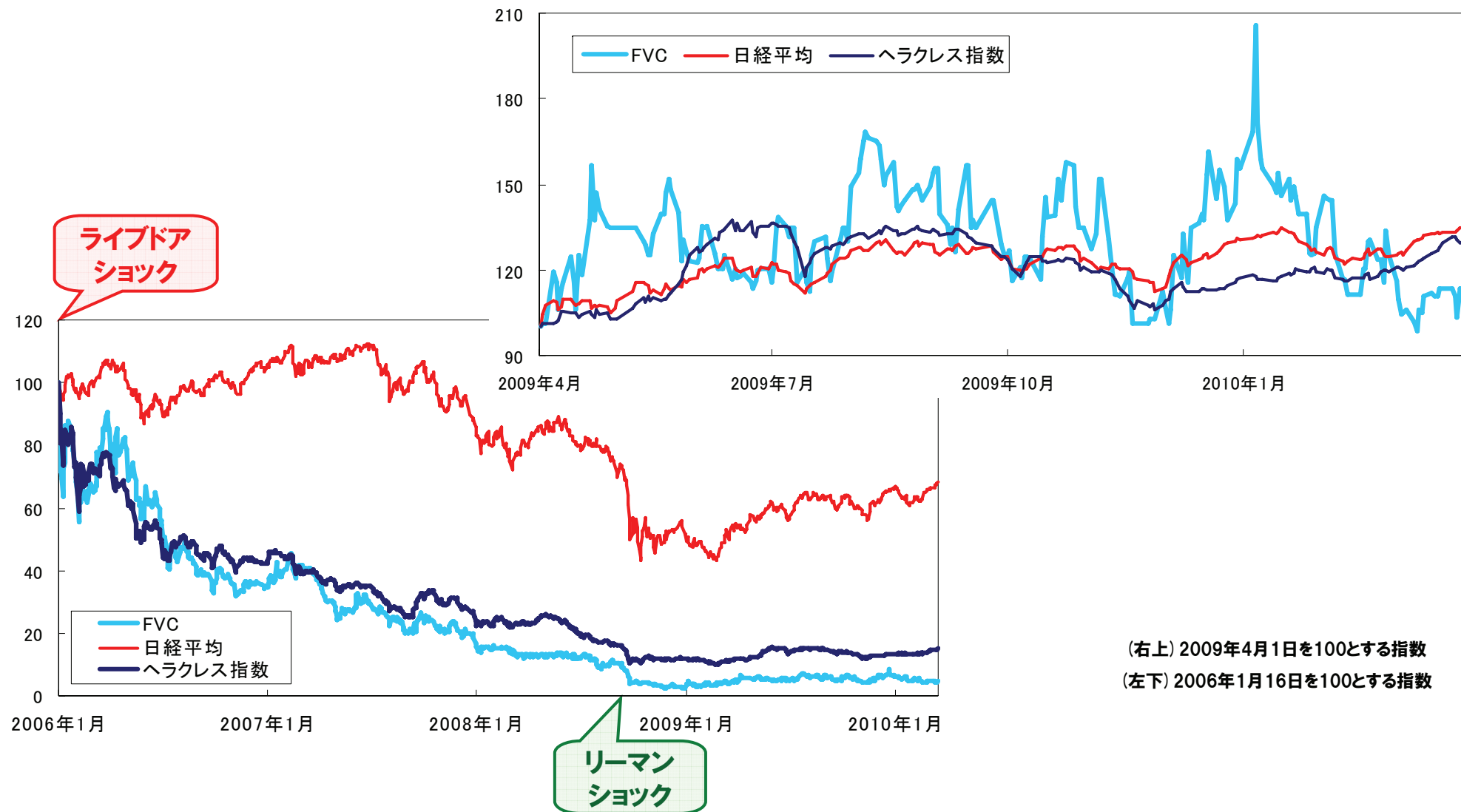
○連結損益計算書

- ・外部出資者の組合持分が売上や売上原価に含まれるため、**損益にも外部出資者の組合持分が含まれます。**
外部出資者の組合持分である損益は、最終的に「**少数株主利益**」又は「**少数株主損失**」として控除されます。
- ・**投資事業組合等管理収入が内部取引とみなされ、相殺消去されます。**

※表示単位未満の数値処理の影響により、合計額が一致しない等のずれが一部に生じております。

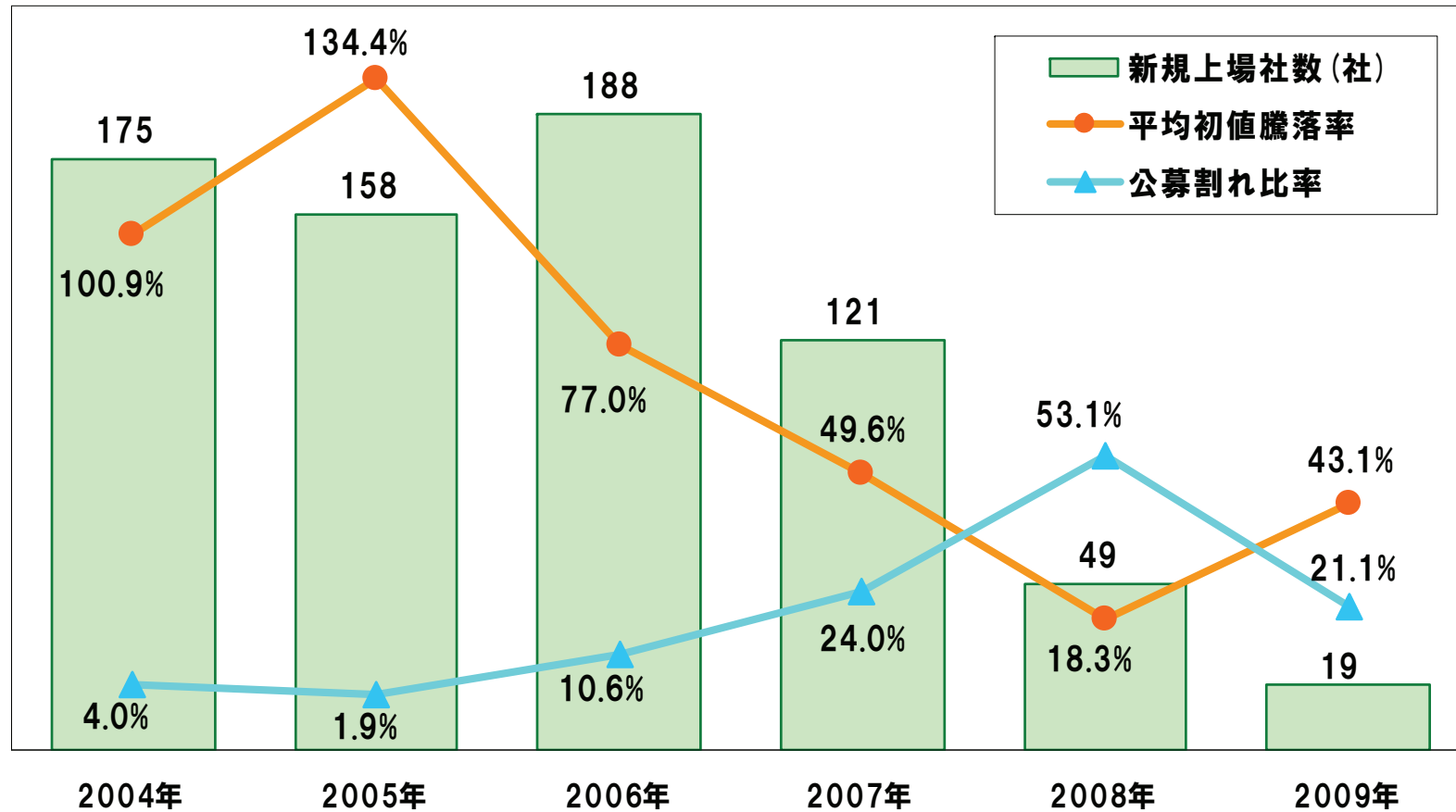
2.1.株式市場の状況

当期の株価は回復基調で推移しているものの、新興市場の低迷はいまだ続く



2.2.新規上場市場の状況

2009年は初値騰落率こそ反転したものの、新規上場社数は1978年以来の低水準に
⇒投資先企業の上場による収益確保は依然困難



※初値騰落率

：{ (初値 - 公募価格) / 公募価格 } × 100 (%)

公募割れ比率

：新規上場企業のうち、初値が公募価格を下回った企業の比率

3.1.第12期決算

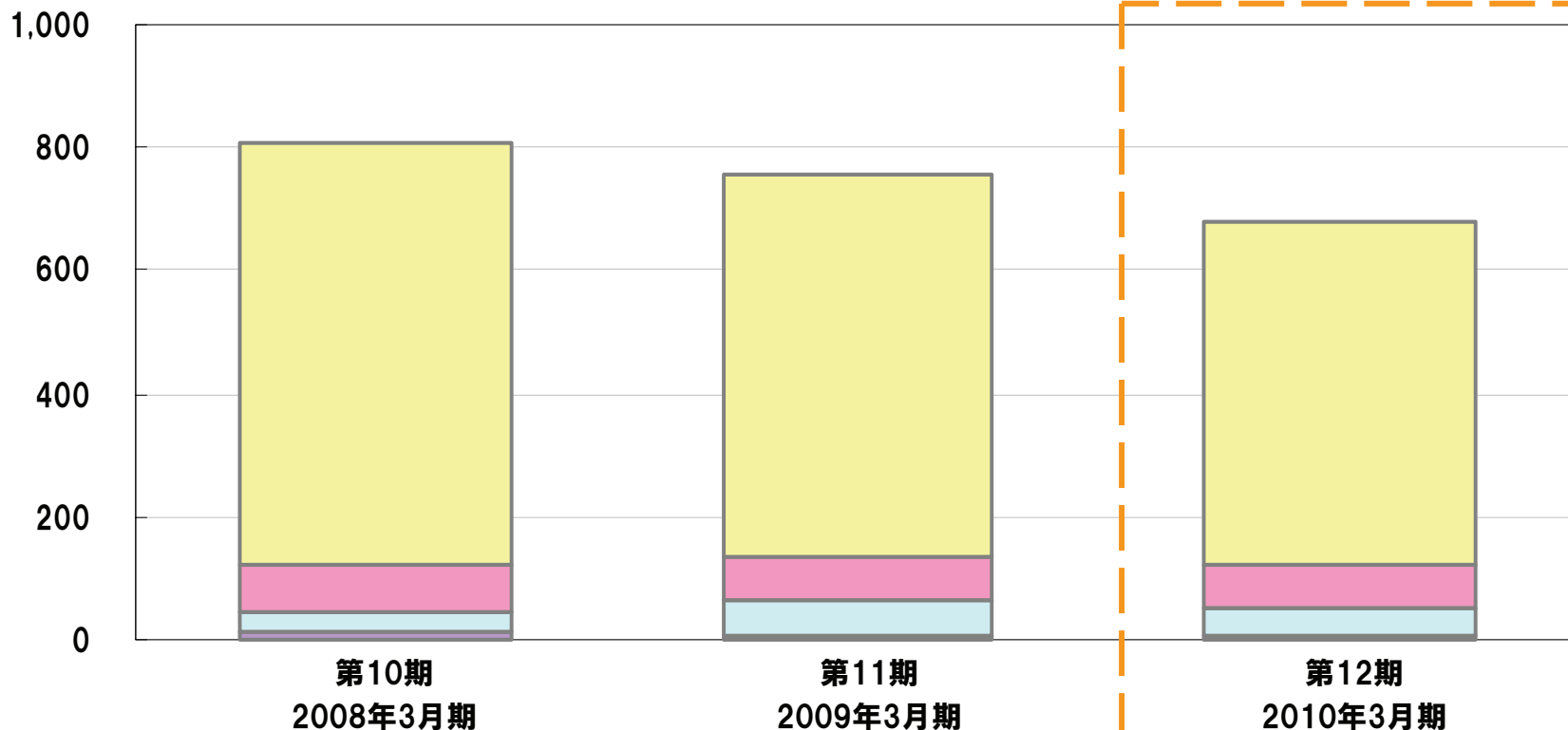
投資損益の回復が困難な中、経費削減を推し進めたものの、第9期から4期連続しての赤字計上となった

	第10期 2008年3月期 2007/4-2008/3	第11期 2009年3月期 2008/4-2009/3	第12期 2010年3月期 2009/4-2010/3
単位:百万円			
売上高	807	755	674
営業損失(△)	△736	△738	△530
経常損失(△)	△788	△789	△590
当期純損失(△)	△800	△821	△612
純資産	1,647	871	394
総資産	4,049	2,565	1,889
自己資本比率	40.7%	34.0%	20.5%

3.2.売上高の内訳・経年比較

投資事業組合管理業務による売上高の減少が響き、減収となった

(単位:百万円)



単位:百万円	第10期 2008年3月期	第11期 2009年3月期	第12期 2010年3月期
投資事業組合管理業務	682	622	554
コンサルティング業務	77	69	69
営業投資有価証券売上高	33	56	41
その他	14	7	8
計	807	755	674

3.3.営業投資有価証券にかかる損益の詳細

未上場売却での損失計上に加え、想定以上の投資損失引当金繰入が発生し、投資損益が赤字に

(単位:千円)

	上場 有価証券	未上場 有価証券	減損	投資損失引当金 新規繰入	合計
①営業投資有価証券 売却高 ※1	3,888	36,273	-	-	40,161
②売却原価	958	208,217	214,774	-	423,950
③売買損益 (①-②)	2,930	△171,944	△214,774	-	△383,788
④投資損失引当金 繰入額(△戻入額)	-	△156,184	△193,036	461,076	111,855
会計上損益 (③-④)	2,930	△15,760	△21,737	△461,076	△495,644

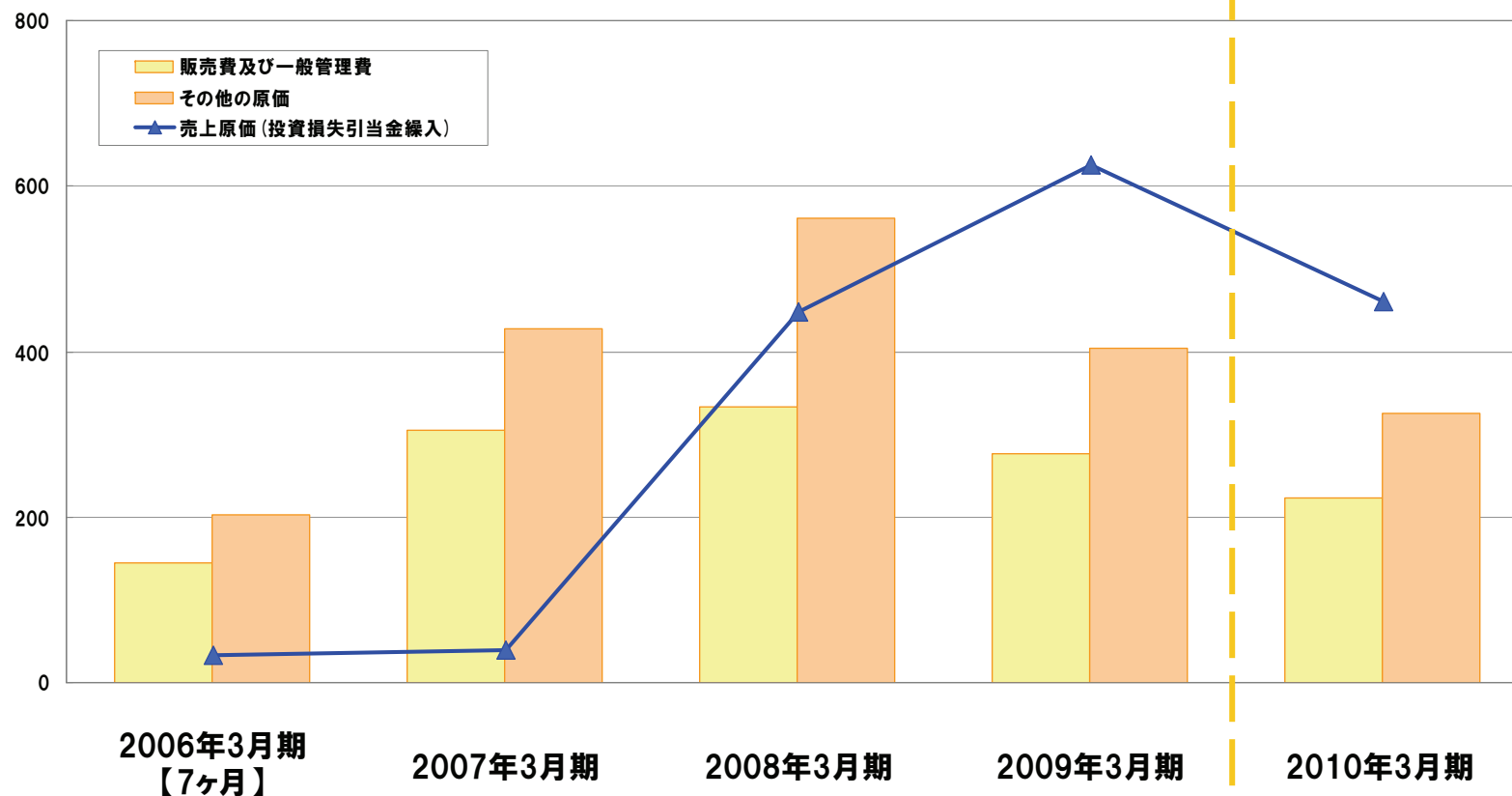
※1 損益計算書上の「営業投資有価証券売上高」には、投資先企業株式・債券からの配当・利子を含むため、本表の数値とは異なります。

3.4. 諸経費及び投資損失引当金繰入額の推移

厳しい経営環境に応じて経費削減を推進

一方、投資損失引当金の新規繰入はピークを超えた

(単位:百万円)



単位:千円	2006年3月期 【7ヶ月】	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期
販売費及び一般管理費	144,242	304,634	332,638	276,979	223,903
その他の原価	202,993	427,061	560,555	403,650	325,745
投資損失引当金繰入額	33,019	38,948	448,673	626,100	461,076

※その他の原価 : 売上原価として計上する営業部門における活動経費

3.5. 損益状況詳細（主要項目抜粋）

損益計算書では営業損失(K)、当期純損失(L)を計上しているものの、
投資事業組合で発生した損益を勘案した修正営業損益(M)は黒字化

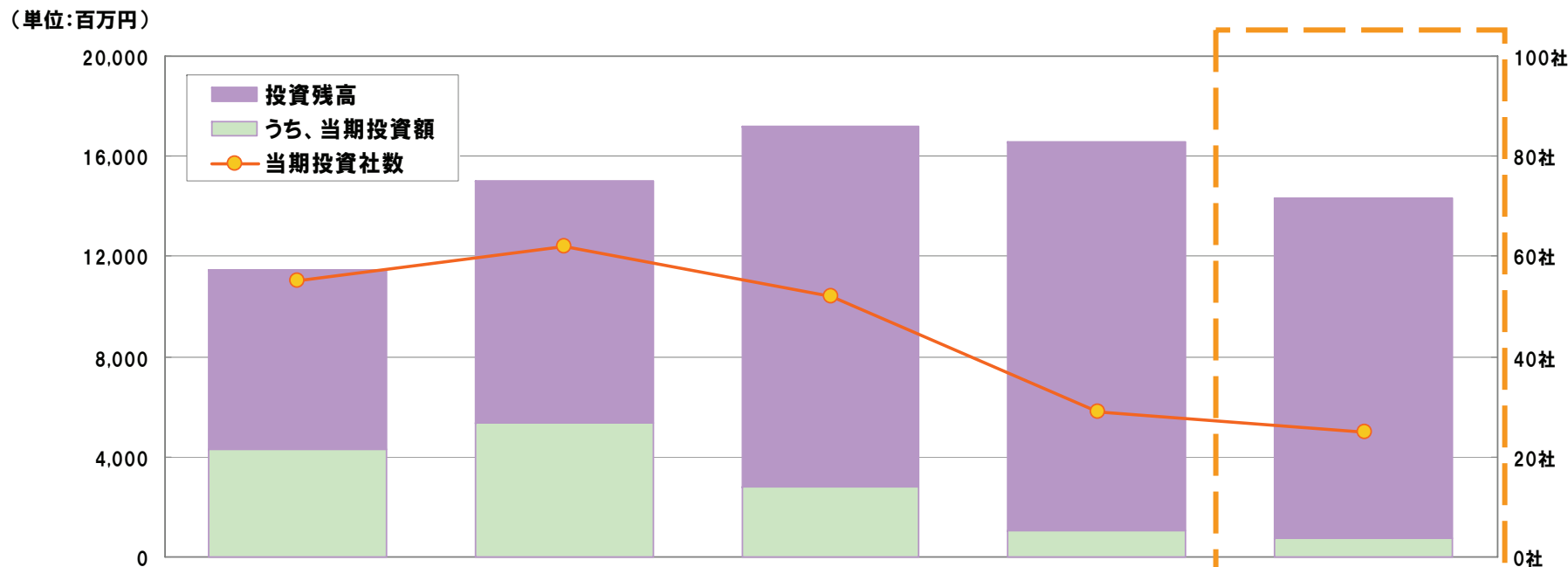
単位:千円		2006年3月期 (7ヶ月)	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期
A	管理報酬等	391,165	627,193	682,364	622,846	554,464
B	営業投資有価証券売上高	12,353	151,881	33,279	56,026	41,801
C	その他の売上高	84,992	113,881	91,522	76,884	78,364
D	売上高 合計	488,510	892,955	807,165	755,757	674,630
E	営業投資有価証券売上原価	39,461	147,162	35,798	130,291	209,176
F	組合費用	49,904	75,159	202,689	123,813	119,433
G	減損・投資損失引当金繰入又は戻入(△)	△1,135	△11,177	412,409	559,962	326,629
H	その他の売上原価	1,074	1,495	1,463	868	280
I	売上原価 合計	89,304	212,639	652,359	814,936	655,519
J	販売費及び一般管理費	346,161	730,307	891,730	679,761	549,648
K	営業利益又は営業損失(△)	53,044	△49,885	△736,925	△738,940	△530,537
L	当期純利益又は当期純損失(△)	32,017	△74,657	△800,272	△821,480	△612,262
M	修正営業利益又は修正営業損失(△)	128,921	9,272	△119,330	19,100	82,867
N	修正当期純利益又は修正当期純損失(△)	107,894	△15,394	△182,655	△63,440	△1,176

$$M=K-B+E+F+G, N=L-B+E+F+G$$

B, E, F, G は当社が管理している投資事業組合において発生し、当社個別損益計算書に取り込んだもの

4.1.投資金額・社数の推移

運用環境の悪化を受けて新規投資額が減少、2008年3月期をピークに投資残高は減少傾向



単位:百万円

投資残高	11,471	15,045	17,186	16,591	14,354
うち、当期投資額	4,270	5,355	2,814	1,032	741
当期投資社数[右軸]	55社	62社	52社	29社	25社

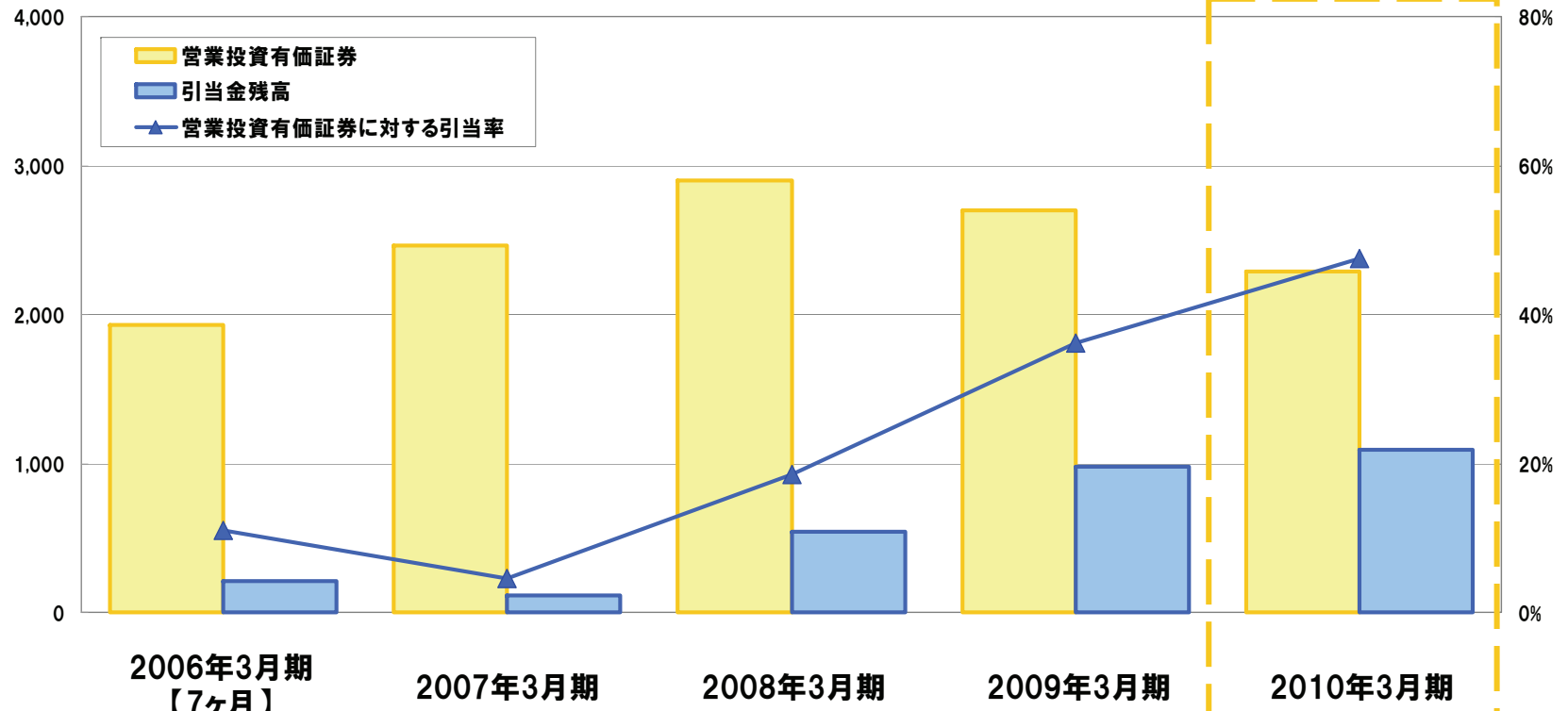
1社当たり投資金額*	77.6	86.3	54.1	35.6	29.6
------------	------	------	------	------	------

※ 1社当たり投資金額 = 当期投資額 ÷ 当期投資社数

4.2. 営業投資有価証券と投資損失引当金の推移

ベンチャー企業にとっての経営環境は厳しいまま変わらず、投資損失引当金をさらに積み増し

(単位:百万円)



単位:百万円	2006年3月期 【7ヶ月】	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期
営業投資有価証券	1,927	2,463	2,900	2,700	2,289
引当金繰入額 (△戻入額)	△4	△100	384	449	111
引当金残高	212	112	540	977	1,089
営業投資有価証券 に対する引当率	11.0%	4.6%	18.6%	36.2%	47.6%

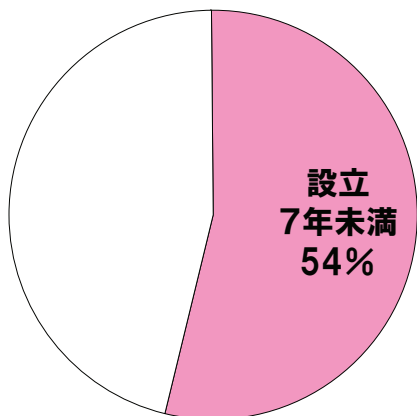
4.3.投資残高ポートフォリオ（2010年3月末現在）

投資残高金額 14,354百万円

投資残高社数 188社

(金額ベース)

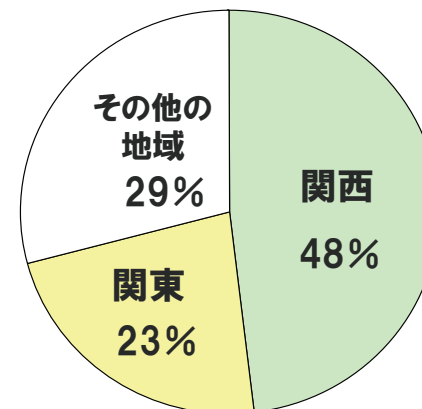
設立年別分類



※追加投資においても初回投資時点の設立経過年数で計算しております。

(金額ベース)

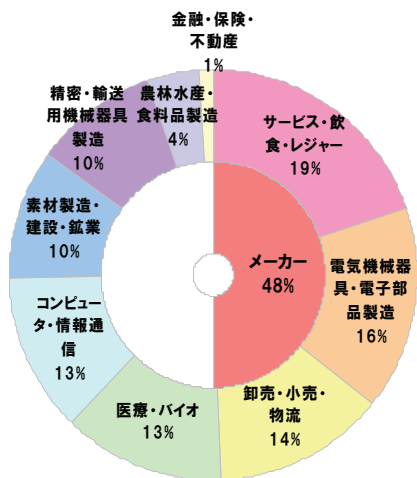
地域別分類



関西・・・大阪(21%)、京都(13%)、兵庫(8%)、その他(6%)
 関東・・・東京(18%)、その他(5%)
 その他の地域・・・東北(12%)、北陸(7%)、その他(10%)

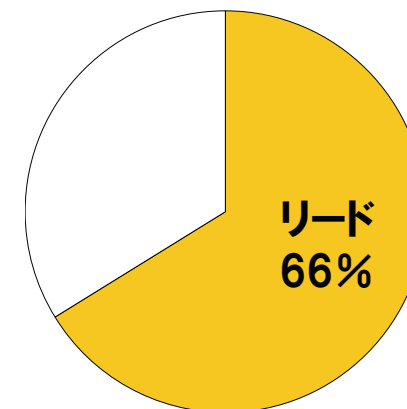
(金額ベース)

業種別分類



(社数ベース)

リードインベスターとして投資している案件



※初回投資時点を基準に計算しております。

28社に非常勤役員を派遣しています。

5.出資約束金額総額の推移

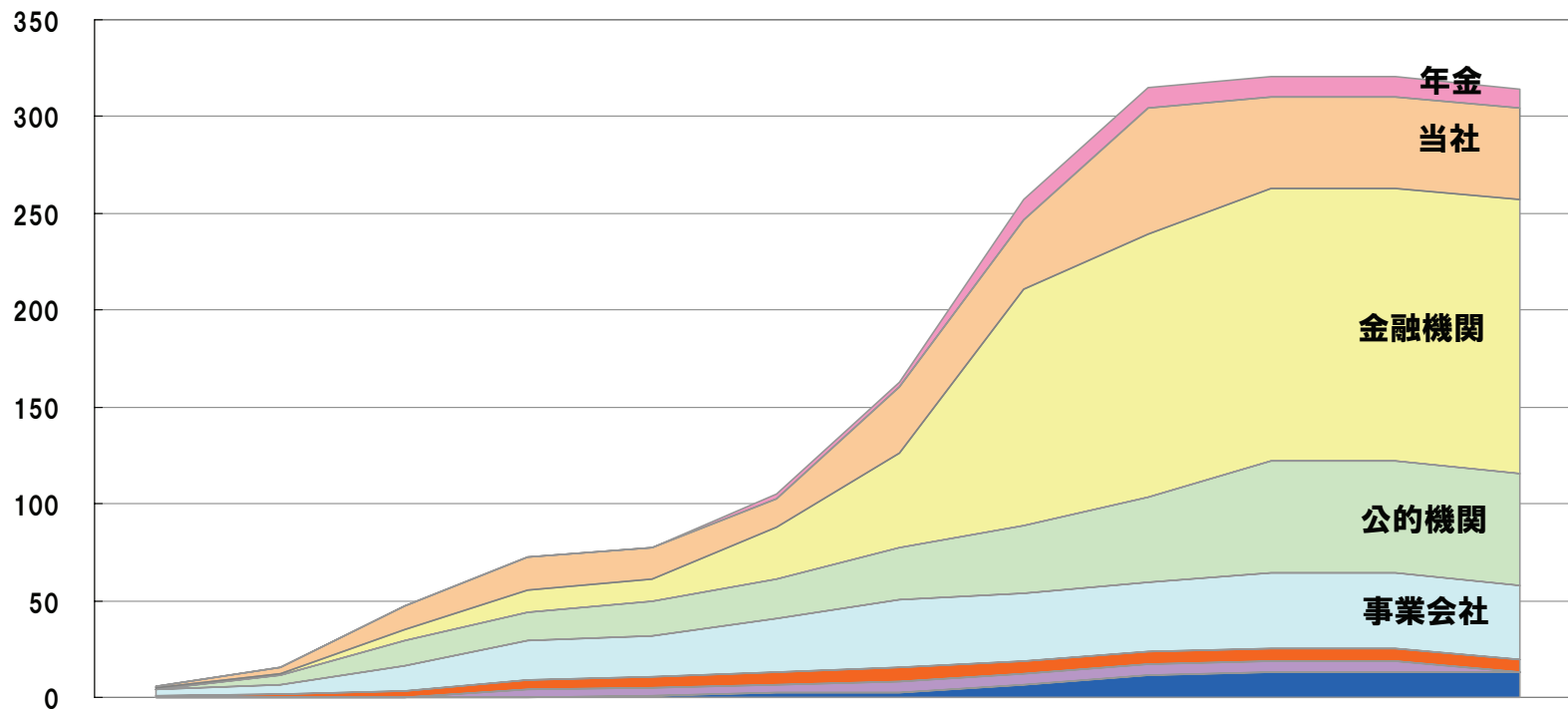
ベンチャービジネス証券投資法人との二人組合であるフューチャーVB投資事業有限責任組合を運用終了

**2010年3月31日現在の出資約束金額総額 27ファンド
(子ファンドは含めておりません) 314.5億円**

ファンド出資者構成
(2010年3月31日現在)

年金	3.3%
当社	15.0%
金融機関	44.8%
公的機関	18.4%
事業会社	12.2%
個人投資家	2.1%
投資法人	0.0%
その他	4.2%

(単位:億円)



(単位:億円)

出資約束金額総額	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期
		5.6	15.6	47.5	72.6	77.6	104.7	163.0	256.9	314.7	320.5	320.5

【参考】連結貸借対照表推移（主要項目抜粋）

（単位：百万円）

	第11期期末 2009年3月末	第12期期末 2010年3月末	増減額	備 考
流動資産	15,114	10,871	△4,242	
現金及び預金	4,773	3,690	△1,082	主としてファンド組み入れの進捗(当期741百万円)により減少
営業投資有価証券	16,591	14,354	△2,236	売却(同1,224百万円)、減損(同1,691百万円)の影響が新規投資を上回ったため減少
投資損失引当金	△6,279	△7,205	△926	引当済未上場株式の売却が進んだ一方、投資損失引当金の新規繰入により、残高は増加
その他	29	31	2	
固定資産	156	73	△82	保険解約に伴う保険積立金の減少(34百万円)、事務所縮小に伴う各種資産の減少(30百万円)
流動負債	660	414	△246	
固定負債	1,303	1,156	△146	
純資産	13,306	9,374	△3,931	
株主資本、評価・換算差額、新株予約権	874	397	△476	2度の株式及び新株予約権発行により増加(116百万円)も、当期損失の影響(612百万円)からトータルでは縮小
少数株主持分	12,431	8,976	△3,454	主として投資損失引当金繰入、減損により、ファンド出資者持分が目減りしたため減少
総資産	15,270	10,944	△4,325	

【参考】連結損益計算書推移（主要項目抜粋）



Future Venture Capital Co., Ltd.

（単位：百万円）

	第11期 2009年3月	第12期 2010年3月	増減額	備 考
売上高	420	362	△57	
投資事業組合管理収入	-	-	-	個別決算での主要売上であるファンドからの管理報酬等は、連結決算では内部取引となるため相殺
営業投資有価証券売上高	344	285	△59	
その他	75	77	1	
売上原価	5,069	4,167	△902	
営業投資有価証券売上原価	1,484	2,915	1,430	売却の増加(513百万円)、減損の拡大(917百万円)により増加 なお売却有価証券の多くは、予め投資損失引当金を積み上げていたものであり、投資損失引当金の戻入と両建てで計上している
投資損失引当金繰入額 (△戻入額)	3,181	926	△2,254	上記投資損失引当金の戻入により、減少
その他の売上原価	403	326	△77	営業関連経費(営業部門の人件費含む)の削減により減少
売上総損失(△)	△4,649	△3,804	844	経費削減、運用損失の減少により、赤字幅が縮小
販売費及び一般管理費	292	238	△54	経費削減の影響により減少
営業損失(△)	△4,942	△4,043	899	
経常損失(△)	△4,983	△4,099	884	
税引前当期純損失(△)	△5,003	△4,109	893	
少数株主損失(△)	△4,117	△3,509	607	連結しているファンドに帰属する損益のうち、当社以外の外部出資者持分に係る損益を控除するもの
当期純損失(△)	△899	△612	286	

【参考】 会社概要 (2010年3月末現在)



- **会社名** : **フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 (FVC)**
- **設立年月日** : **1998年9月11日**
- **資本金** : **1,977百万円**
- **発行済株式総数** : **45,669株**
- **株式公開市場** : **大阪証券取引所ヘラクレス (8462)**
- **所在地** : **京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659番地
烏丸中央ビル8階**
- **従業員数** : **42名**
- **事業内容** : **未公開企業投資業務、投資事業組合の企画・運営
コンサルティング業務など**